

平成 29 年度 家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	「家庭基礎（自立・共生・創造）」（東京書籍出版）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・自分の生活を支えている家庭や家族に目を向け、興味・関心を持ちましょう。
- ・家庭生活は社会と密接に関わって運営されています。そのため、家庭科の各分野の学習は社会と深く結びついています。家庭や家族、および社会に対して理解を深め、知識を持ち、また、実践的・体験的な学習を通し、生活に必要な知識・技術を身につける。
- ・学んだことを基礎にしてよりよい生活を目指します。

2 学習の到達目標

- ・人の一生と家族・家庭および衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
- ・学習した知識や技術を活用し、家族や家庭の生活課題を主体的に解決する態度を育成する。
- ・家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	人の一生と家族・家庭及び衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組みとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を見に付けている。	人の一生と家族・家庭及び衣食住、消費生活などについて関する基礎的・基本的な技術を見に付けている。	人の一生と家族・家庭及び衣食住、消費生活などについて関する基礎的・基本的な知識を見に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 プリントの記述 ワークシート 発表	学習状況の観察 プリントの記述 ワークシート 発表 定期考査の結果	学習状況の観察 プリントの記述 製作品 実技テストの結果 自己評価 定期考査の結果	学習状況の観察 プリントの記述 実習記録 小テストの結果 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第1章自分らしい人生をつくる	(はじめに)家庭科の学び方 1 生涯発達の視点 2 青年期の課題 (過去・現在・未来の絵本製作) 3 人生をつくる	○	○	○	○	a: 学習内容について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 課題を見だし、その解決を目指して考え、表現している。 c: 事例研究などを通して、青年期の生き方について検討する技術を身に付けている。 d: 学習内容について、自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 プリント ワークシート 発表 定期考査
		4 家族・家庭を見つめる 5 これからの家庭生活と社会	○	○		○		
	第3章高齢社会を生きる	1 高齢期を理解する 2 これからの高齢者	○	○		○		
	第2章子どもと共に育つ	1 子どもの育つ力を知る 2 親として共に育つ (ビデオ視聴) 3 これからの保育環境	○	○	○	○	a: 子どもや子どもを取り巻く環境について関心を持ち、親や家族の果たす役割を考えようとしている。 b: 子どもを取り巻く環境の変化と子どもを生き育てることの意義、社会・地域・親の果たす役割について考え課題を見だし、まとめ、発表したりしている。 c: 子育てにおける課題などについて情報を収集したり、調査することができる。 d: 子どもと関わるときのために必要な知識や理解を身に付けている。	

2 学期	第6章衣生活をつくる	1 被服の役割を考える 2 被服を入手する 3 布を用いた生活の知恵	○	○	○	○	a: 健康で快適な衣生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 衣生活について課題を見だし、その解決を目指して考え、適切に判断し、表現している。 c: 手縫い・ミシン縫い・アイロンがけ等の技術を身に付けて、健康で快適な衣生活営むことができる。 d: 衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 プリント 小テスト 実技テスト 製作品 定期考査
	第5章食生活をつくる	1 食生活の課題について考える 2 食事と栄養・食品 3 食生活の安全と衛生 4 生涯の健康を見通した食事計画 (調理実習は授業の都合で3学期も行う)	○	○	○	○	a: 健康に配慮した食生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 自分の食生活の課題を見だし、その解決を目指して考え、適切に判断し表現している。 c: 健康で安全に配慮した食生活を営むための技術を調理実習を通して身に付けている。 d: 健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	
3 学期	第8章経済生活を営む	1 職業生活を設計する (1 学期の「人生をつくる」でワークシートを行う) 2 国民経済・国際経済と家庭の経済生活 3 現代の消費社会 4 消費者の権利と責任 (5 調理実習)	○	○	○	○	a: お金(収入と支出)について関心を持ち、将来の職業生活を真剣に考えようとしている。 b: 現代の消費社会について考え自分の身に置き換えて考察、工夫している。 c: 健康で安全に配慮した食生活をいとなむための技術を経済面にも考慮し、調理実習を通して身に付けている。 d: 家庭経済と国民経済の関わり、家計の管理や消費者問題現状を理解し、消費者の権利と責任を身に付ける。	授業観察 プリント ワークシート 実習レポート 定期考査

